

診療情報を利用した臨床研究について

済生会横浜市東部病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間

2020年5月1日～2022年2月28日の間に、腹部領域の腫瘍のために済生会横浜市東部病院放射線治療科に入院・通院し、治療計画のために四次元CT検査を受けられた方

【研究課題名】

「非剛体位置照合法を利用した四次元CT画像の画質改善方法の検討」

【研究の目的・背景】

《目的》

非剛体位置照合法は検査画像の濃淡を基に画像を変形させる技術を利用し、異なる時期の検査画像や、異なる装置の画像を重ね合わせる方法です。この非剛体位置照合法を利用した四次元CT画像の画質改善法を考案しました。これまで臨床で使用した画像データを使用し、提案手法の描出精度を後方視的に評価するものです。

《研究に至る背景》

横隔膜周辺臓器を対象とした放射線治療では、呼吸に伴う腫瘍位置の変動が問題となります。そのため自由呼吸下の高精度放射線治療では、あらかじめ四次元CTを撮影して腫瘍位置変動を定量し、治療計画に反映する必要があります。この四次元CT撮影は診断用CT撮影と比較し、被ばく線量の増加が課題でした。この課題を解決するために、非剛体位置照合法を利用した四次元CT画像の画質改善法を考案しました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

病院長承認日～2023年3月31日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 放射線治療科 小塚拓洋のもと研究終了後

5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：治療計画に撮影した四次元 CT データ

【研究代表者】

虎の門病院 放射線治療科 小塚 拓洋

【虎の門病院における研究責任者】

放射線治療科 小塚 拓洋

【済生会横浜市東部病院における研究責任者】

恩賜財団済生会横浜市東部病院 放射線部 宍戸 正明

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線部 鈴木 健太郎

電話 03-3588-1111(代表)

【当院での相談窓口】

済生会横浜市東部病院 放射線部 宍戸 正明

電話 045-576-3000(代表)